



大島海洋国際高等学校の改編の流れ(改革イメージ)

大島南高校

【沿革概要】

昭和21年 4月

都立大島農林学校に水産科を設置

昭和34年 3月 初代[大島丸]竣工

昭和46年 4月

都立大島南高校として現在地に開校

普通科 1学級、水産科 1学級

平成 8年 3月 四代目[大島丸]竣工

【水産科の教育実践】

- ・ **水産業や遠洋漁業などに従事する中堅技術者を育成**
- ・ 水産に関する中堅技術者を育成するために必要な水産科目を最大34単位学習
- ・ 航海実習では、マグロ延縄漁業実習などを実施

【課題】

- ・ 海運業の合理化や輸入水産物の増加などに伴い進路を十分確保できないという認識
- ・ 経済や社会のグローバル化に対応した国際人の育成が必要との認識
- ・ 生徒の大学等への進学希望への対応

【検討委員会を設置し検討】

- ・ 海を通じて**国際社会に貢献できる人材を育成**するため、学校名を改称するとともに、**学科を「国際科」に改編**

大島海洋国際高校

【沿革概要】

平成18年 4月

都立大島海洋国際高校に改称

学科を国際科（2学級）に改編

【国際科の教育実践】

- ・ **国際社会に通用する自律的な国際人を育成**
- ・ 1年生は同一カリキュラムにより水産科目 5単位と普通科目等26単位を学習
- ・ 2年生から海洋系と国際系に分かれる
- ・ 海洋系では卒業までに水産科目を25単位と普通科目、国際科目を学習
- ・ 国際系では卒業までに水産科目を最大4単位と国際科目、普通科目を学習
- ・ 卒業までに国際人としての素養を育成

【課題】

- ・ 生徒、保護者の海洋教育への高い期待
- ・ 平成19年に海洋基本法が制定
- ・ 平成30年以降の海洋基本計画では、海洋人材の育成が重要なテーマ
- ・ 次期学習指導要領でも海洋教育が重視
- ・ 都においても本校の改革を計画

【検討委員会を設置し検討】

- ・ 教育理念を「海に学び、未来を拓く。」とし、**真に国際社会で活躍できる海洋人材を育成⇒学科を「水産科」に改編**

新たな大島海洋国際高校

【改編予定年度】

平成32年（2020年） 4月

水産科（2学級）への改編を検討

【教育理念を明確化】

「海に学び、未来を拓く。」

【これまでとの違い】

- ・ **かつての大島南高校のように水産業や遠洋漁業などに従事する中堅技術者を育成するのではなく、これまでの大島海洋国際高校の国際人の育成といった教育を引き継ぎつつ、真に国際社会で活躍できる海洋人材を育成する学校へ**
- ・ 育成すべき海洋人材像
 - ・ 海技従事者等、世界を舞台に活躍できる人材
 - ・ 海洋生物の保全や増養殖など水産資源分野で活躍できる人材
 - ・ 港湾産業や海洋レジャー産業等を支える人材
 - ・ 海洋に関する諸課題を国際的な視点で考え、解決できる人材

【今後の取組】

- ・ 実現に向け具体的な検討を進め、都立高校改革推進計画などで明確化
- ・ 本検討委員会の議論を踏まえ、新たな実習船「大島丸」の活用などを検討